

## 『協働によるまちづくりの推進』

### 平成 29 年度の取り組み実績

#### コミュニティセンター地元移管

全コミュニティセンターの運営管理を地域のコミュニティセンター協議会に移管  
→ 地域の実情に合わせた運営管理が可能に

##### (1) コミュニティセンター

- ◆ 照明の LED 化、室内クロスの張替え、駐車場のライン整備を安価な施工金額で実施
- ◆ LED 化により光熱費を削減
- ◆ 利用者の要望を受け、迅速な修繕（戸棚設置、下駄箱の塗装等）を実施
- ◆ ホームページの管理等を地域ボランティアが協力

##### (2) 地域担当職員

- ◆ 職員を各地域に配置し、その中から各 3~4 名を「地域担当職員」に任命
- ◆ 地域の 3 大行事（夏祭り、町民運動会、文化祭）の運営会議に出席し、当日の準備、進行補助、片付け等に参加
- ◆ 総会や敬老会にも参加し、地域の方と顔の見える関係を築く

##### (3) 敬老会実行委員会

- ◆ 敬老会の主催者が市から各町の実行委員会になり、地域の実情に合わせた運営が可能に
- ◆ 平成 30 年度から対象者の年齢について、呼び年齢から満年齢に見直し

#### 寄り合いワークショップ

##### (特色・内容)

住民が地域の持つ個性や資源等の中から現実にあるものを探し出す



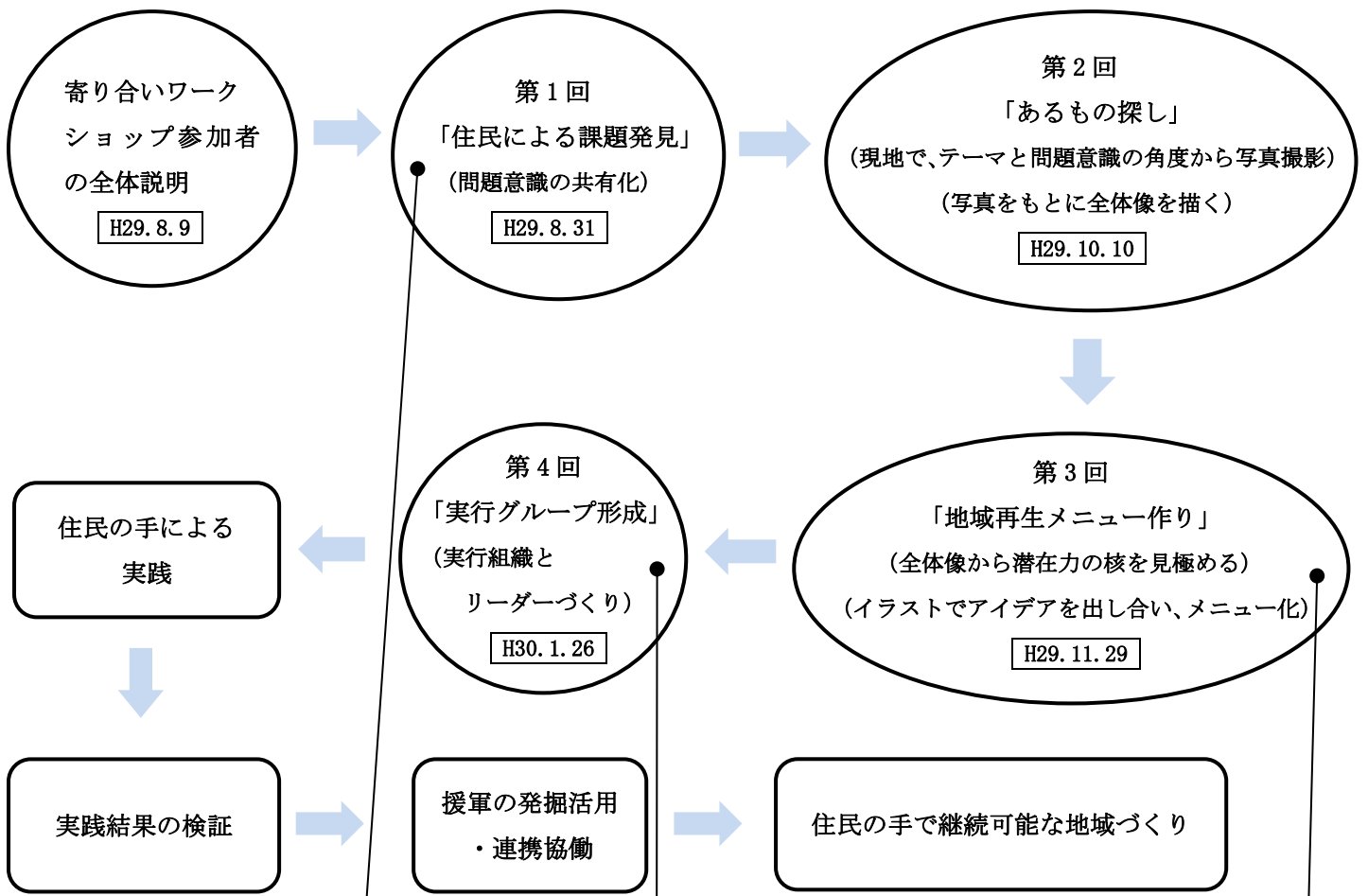
地域課題や問題点を掘り出し、解決方法や人づくり、地域づくり等を話し合う

##### (開催方法)

- ◆ 地域のコミュニティセンター協議会が主体となり、コミセン単位で開催
- ◆ 地域担当職員が場の進行支援を実施

正木町の開催事例 (岐阜大学インターンシップの学生も参加)	
開催日	
事前説明	平成 29 年 8 月 9 日 (水)
第 1 回	平成 29 年 8 月 31 日 (木)
第 2 回	平成 29 年 10 月 10 日 (火)
第 3 回	平成 29 年 11 月 29 日 (水)
第 4 回	平成 30 年 1 月 26 日 (金)

# 正木町での寄り合いワークショップ開催事例



## 【地域課題の重要度評価】

- 1位 地区役員の高齢化と担い手不足
- 2位 正木町による耕作放棄地の有効活用
- 3位 三世代がふれ合えるまちづくり
- 4位 子供たちが安心して遊べる公園
- 5位 若い人の自治会加入の促進

## 【実行グループ】

- ① 史跡体験コース
- ② 花見De : 青空市
- ③ 三世代の地域の人の交流拠点づくり

## 【課題解決の優先度評価】

- 1位 特産品作り
- 2位 史跡体験コースの開発
- 3位 手作り青空市の開設
- 4位 みんなが集える憩いの場
- 5位 休耕地の活用に向けた税制支援
- 6位 耕作放棄地を利用した農業体験
- 7位 総合レジャーランド道の駅の開設
- 8位 企業誘致
- 9位 花見と収穫祭の開設
- 同9位 三世代の地域の人の交流拠点づくり